



六甲山魅力再発見市民セミナー

市民セミナーVol.24
六甲山をつくる花崗岩の
性質とその影響 / 先山 徹
2005年3月発行

第24回テーマ:六甲山をつくる花崗岩の 性質とその影響



兵庫県南部地震で崩壊した
なまず石(芦屋川上流)

講演内容

- ①六甲山地の地形と地質
- ②花崗岩とはどんな石か
- ③有馬温泉のでき方

実施日:平成17年3月19日(土)
午後1時～4時
場 所:六甲山YMCA
里見ホール



講 師: 先山 徹さん

プロフィール

1954年生まれ。岐阜県出身。岡山大学理学部、同温泉研究所を経て、1985年広島大学大学院理学研究科(地質学鉱物学専攻)修了。第28次南極地域観測隊員。兵庫県立人と自然の博物館主任研究員。

六甲山の春はまだ遠い?

3月に入り、街中は少しずつ春めいてきました。六甲山上は肌寒く、近畿自然歩道の日陰には霜柱がありました。街から近いとはいえ、標高1000mの貫禄を感じます。シュラインロードの麓はアセビが満開でしたが、自然歩道沿いのアセビはつぼみの状態でした。六甲山上の春はこれからのようです。来月は満開になるものと心待ちです。



六甲山地の地質についてお話を聴く

六甲山地の花崗岩を知った

県立人と自然の博物館の主任研究員、先山徹さんに今年度最後の市民セミナーを締めくくっていただきました。先山さんは、南極観測にも行かれた花崗岩研究の専門家です。岩石見本やスライドで、六甲山地の地形や地質、大部分を占める花崗岩について解説していただきました。六甲山地は、活断層の運動による隆起でできた山で、約9～8千万年前の花崗岩でつくられていることを理解しました。

主催:六甲山自然保護センターを活用する会
後援:兵庫県神戸県民局 兵庫県立人と自然の博物館
灘区役所 神戸市教育委員会

有馬温泉(金泉)は珍しい温泉

六甲山地は災害が起きやすい地質ですが、みかげ石や有馬温泉という花崗岩地帯ならではの恵みもあります。有馬温泉(金泉)は、全国に5箇所しかない珍しい泉質であると聞き、大変関心を持ちました。

質疑応答も活発に行われました。先山さんの南極観測の体験談もあり、興味の尽きない話が続きました。先山さんの専門的な話に加えてユニークな体験も伺って、一層親しみがわきました。

冬の贅沢なおもてなしが終わる

平成16年度最後の市民セミナーも大変盛況でした。里見ホールの暖炉や、焼き芋も食べ納めとなり、来月からは会場を自然保護センターに戻し、清貧の時代?に変わります。来年度も充実したセミナーを継続していきたいです。

※詳しくは、1. 2ページをお読みください。

参加の感想 久保 紘一さん

先山先生のお話を聞いて、私の住んでいる東灘区住吉は素晴らしいところと思いました。住吉川周辺には六甲花崗岩、丹波層群など、地質図を見るといろんな地層がみられるようです。



六甲山地の接峰面図や、地質図と、普通の地図を重ね合わせながら山を歩く楽しみが増えました。

【助成金をいただいている機関】

灘区「地域力を高める」事業、ひょうご環境保全創造活動、コープこうべ環境基金、コベルコ自然環境保全基金